



あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

'94 7月号



市街地での発掘調査（四之宮：高林寺遺跡）〈'92.2.1〉

夏期特別展
7月20日～8月30日

『掘り起こされた平塚Ⅱ』

■1982年の特別展「掘り起こされた平塚」から12年。この間に平塚市内で300件を超える発掘調査が行われ、旧石器時代の資料や官衙関連の資料、台地上に展開する方形周溝墓群などめざましい成果があげられています。今回の特別展「掘り起こされた平塚Ⅱ」では、今までに蓄積された資料を一堂に集めて展示し、平塚市に於ける考古学調査の現状を紹介します。

その1：「平塚の古代を語る出土資料」

- 開催日：7月20日(水)～8月30日(火)
- 時間：9：00～16：50
- 場所：博物館 1階 特別展示室

その2：「発掘調査速報」

- 開催日：8月2日(火)～9月20日(火)
- 時間：9：00～16：50
- 場所：博物館 1階 寄贈品コーナー

その3：記念講演会

「古代への扉—スライドで見る
発掘最前線—」

- 開催日：8月6日(土)
- 時間：13：00～15：30
- 場所：博物館 講堂

その4：遺跡見学会「岡崎地区の遺跡」

- 開催日：8月21日(日)
- 時間：14：00～15：30
- 場所：市内岡崎地区

特集『7.16 平塚大空襲』

証言に基づく平塚大空襲

■平塚の空襲と戦災を記録する会では、既に出発以来50名を超える市民の皆様から、平塚空襲の体験を聞き取り調査という形で集めています。そこで、聞き取り調査を通して、体験者からの平塚空襲の実際を記録してみましょう。

平塚空襲の予告はあったか？

■当時、市民の多くは、「平塚は空襲される」と考えていました。その根拠は、「火薬廠」があるからといったことでした。平塚空襲の予告に関する証言のうち、「平塚空襲の前日にアメリカ軍機により空襲を予告するビラが撒かれた」という証言がえられています。また、「今日(7/16)は平塚が空襲されるので、徴用先を定刻より早めに帰された」という証言もあります。

空襲警報と空襲の開始？

■空襲警報が7月16日の夜、正確に何時何分に出されたか記憶する人は大変少ないといえます。警報を記憶する人の証言では、一様に空襲警報とほぼ同時に空襲は開始されたといえます。当夜、東海道下り線を新鶴見駅から貨物列車を牽引(50両)していた機関士の証言によれば、「馬入橋を渡りかけた時、警報のサイレン(長さ5分間)を聞き、馬入橋を渡りきり平塚駅場内信号機(現神奈中スイミング付近)の見える所にさしかかった時、市内あちらこちらに照明弾が落とされ、街全体が真昼のように明るくなった」と証言することから、警報が終わるか終わらないうちに空襲が始まったことは確かなようです。

空襲の開始時刻？

■空襲開始時刻の記憶は、体験者によって、その開始時刻に「午後8時頃」という証言や「午後11時過ぎ」という証言まで、さまざまな時刻が記憶されています。

当時、火薬廠に勤務されていた人の証言では、「当時の火薬廠は、午前0時になると夜食の時間として休憩時間が与えられていたこと、そのため午後11時30分を過ぎてそろ

寄贈品コーナー展示 《平塚の空襲と戦災》

7月30日まで

そろ夜食の準備に入っていた」その時、警報と共に空襲が開始されたと記憶し、空襲開始時刻を「午後11時40分頃」と証言します。ところで、先の貨物列車は、16日23時25分、定刻5分遅れで茅ヶ崎駅を発車しています。平塚駅場内信号機手前で空襲が始まり、その時刻は、「23時32・33分頃」と言います。「現在、茅ヶ崎～平塚間は、電車で5分を予定し運行している」(平塚駅談)とありますから、茅ヶ崎駅を発車し7・8分の位置で、十分に平塚場内信号機を捉えることが出来たと考えられます。そして、この23時32分という時刻は、アメリカ軍機が平塚空襲の初弾投下時刻とピッタリ一致するのでした。

当時の市民は、就寝時、いざという時の備えとして、服をきたまま寝ている場合が多く空襲とわかった時は、ごく簡単な身支度で済むように習慣づけられています。空襲が始まると多くの人は、「飛び起きたという感じ」「ガタガタ膝が震えた」「とうとう空襲だ」と言うように、突然の空襲に、恐怖と諦めに似た感じを強く持ったようでした。多くの人は、一時的に各家々に作られている粗末な防空壕に避難しますが、激しさを増すに連れ、防空壕を抜け出し外の場所へと避難を開始しています。

避難の様子

■避難に際して、市民の多くは身の廻りの物を携帯し避難しています。しかし、「バケツ一つを手を持ち逃げた」という具合に、混乱の中、何一つ持たず避難した人も沢山ありました。最も多くの人々が持ちだした物に、「布団」があります。この布団は、降り注ぐ焼夷弾から身を守るための物であり、この布団すら避難の途中で投げ出す人も沢山いたようです。避難場所は、海岸、相模川土手・花水川土手・天沼地区の田圃・浜岳地区の松林などに集中します。しかし、避難場所にも用捨なく焼夷弾は降り注ぎ、避難場所においても多くの人々の貴い人命が失われています。

(平塚の空襲と戦災を記録する会)

よだかの星

7月23日

～9月4日

■友好都市花巻が生んだ詩人宮沢賢治（1896-1933）の、星に関わりのある童話から「双子の星」に続く第二弾として「よだかの星」を投影します。

■『よだか』（「ヨタカ」というのが鳥として正式な名）はみにくい鳥で、ほかの鳥たちからきらわれていました。ある日、名前の似ている鷹から「名前を変えなければ殺す。」

とおどされた『よだか』は、ある大事なことに気づくのでした。

■賢治は、商家に生まれながら、農民の生活に深い関心を持ち、啓蒙教育や生活の改善のためにその一生をささげた人でした。この童話は、ある意味で彼自身の生きかた、考え方を象徴しており、「賢治の童話制作意図の核心」が表れているとまで評されるものです。

シューメイカー・レビー第9彗星が木星に衝突!

■今月17日から22日にかけて、木星にシューメイカー・レビー第9彗星が衝突します。この彗星はすでに核が21個以上に分裂しており、これが次々に木星に突入するものです。「千年に一度の出来事」ということで、マスコミでもずいぶん話題になっているようです。

■ただ、この衝突は、場所が木星のむこうがわの面になるため、地球からは見られません。

■衛星が衝突時の光を受けて一瞬かすかに明るくなったり、木星の大気中に雲が発生したり、あるいは木星の出す電波の変化などが予想されていますが、いずれの現象もとらえるには特別な観測設備が必要で、家庭用の望遠鏡や、残念ながら博物館の設備でも衝突を確認することは困難です。

■過去に観測例がないので確かなことは言え

ませんが、現在予想されている現象から思い切って言ってしまうとそういうことになります。

■何が起きるのか、結果は各地の天文台などの観測が、テレビや新聞で報道されるのを待つしかなさそうです。

■これは、言い換えればそれだけ木星が巨大で、彗星のほうは小さくもろい天体だということです。木星表面のしまもようや衛星は小望遠鏡でも見られますから、夕方の空で明るい木星をながめて、想像力をはたらかせてみましょう。もちろん彗星のほうは小さく暗いので見えません。夕方見るとくに明るいふたつの星のうち、西よりは金星、南よりにあるのが木星です。

プラネタリウム利用案内：《一般投影》

投影日：毎週 水・木・土・日曜日 <夏休み期間中>

毎週 水・木・土曜日の第1回目 11:00 は団体優先です。

投影時間：第1回目 11:00 第2回目 14:00

観覧料：100円

定員：86名

★途中入場はできません。

★夏休み期間中の水・木・土曜日の11:00の回は団体予約を受け付けています。

詳しくは博物館までお問い合わせください。

★観覧券の発売は9:00からです。1階受付でお求めください。売り切れの場合はご了承ください。

7月の行事予定

3	日	自然観察ゼミナール 「湘南の動物入門」
9	土	古文書講読会 漂着物を拾う会
10	日	古代遺跡を探す会
16	土	平塚の空襲と戦災を記録する会
17	日	相模川の生い立ちを探る会 「海辺の石の由来・花水河口」
20	水	◆体験学習「勾玉を作ろう」 「貝化石を調べよう」申込締切
23	土	古文書講読会 星を見る会 「木星を見よう」
25	月	「みんなで調べよう」申込締切
26	火	◆体験学習「勾玉を作ろう」
27	水	夏休み自由研究相談会
28	木	◆体験学習「勾玉を作ろう」 ◆自然観察入門講座 「貝化石を調べよう・大磯町」
29	金	◆自然観察入門講座 「貝化石を調べよう」
30	土	天体観察会 「スターウォッチング」
31	日	「夏の自然観察会」申込締切 「地形模型を作ろう」申込締切

6/17～7/30 寄贈品コーナー <歴史部門>
「平塚の空襲展」

6/18～7/17 プラネタリウム
「こと座物語」

7/20～8/30 夏期特別展
「掘り起こされた 平塚Ⅱ」

7/23～9/4 プラネタリウム <夏休み期間中>
「よだかの星」

8/2～9/20 寄贈品コーナー <考古部門>
「発掘調査報告」

8/7～8/27 みんなで調べよう

8月の行事予定

3	水	◆体験学習「勾玉を作ろう」
4	木	星を見る会 「夏の星座に親しもう」 天体観察会「スターウォッチング」
6	土	夏期特別展記念講演会 「古代への扉—スライドで見る 発掘最前線—」
7	日	◆みんなで調べよう<至:8/27> 天体観察会「スターウォッチング」
9	火	◆体験学習「勾玉を作ろう」
10	水	◆体験学習「勾玉を作ろう」
11	木	星を見る会 「夏の星空に親しもう」
12	金	天体観測会「ペルセウス流星群」 (月光天文台) <至:13日>
13	土	漂着物を拾う会 古文書講読会
17	水	◆夏の自然観察会 「夏の沢を歩く」
18	木	星を見る会 「夏の星空に親しもう」
20	土	平塚の空襲と戦災を記録する会
21	日	夏期特別展企画「遺跡見学会」 <市内:岡崎地区の遺跡> ◆夏の自然観察会 「夏の沢を歩く」
23	火	夏休み自由研究相談会
24	水	◆体験学習「地形模型を作ろう」
25	木	◆体験学習「地形模型を作ろう」 裏打ちの会 星を見る会 「夏の星空に親しもう」
27	土	◆体験学習「地形模型を作ろう」 ◆みんなで調べよう「まとめ」 古文書講読会
28	日	古代遺跡を探す会 相模川の生い立ちを探る会 「海辺の石の由来・須賀」

■カレンダー中の◆印は申込制です。詳細は「あなたと博物館・臨時増刊号」「広報ひらつか・7月号」をご覧ください。お問い合わせは、平塚市博物館:管理係・学芸係まで。■

あなたと博物館 19巻4号 通巻209号 ©3000 発行 平塚市博物館
〒254 平塚市浅間町12-41 TEL:0463(33)5111 FAX:0463(31)3949 ※この用紙は再生紙を使用しています